



新年明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお祈りします。

元旦の能登半島地震には大変驚きましたが、犠牲となられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

ワーカーズコープ連合会グループ(ワーカーズコープ・センター事業団、協同総合研究所、日本社会連帯機構、ワーカーズコープ連合会)では、現時点で組合員や現場で被災された報告は入っていませんが、石川県白山市でセンター事業団が管理運営する施設が支援拠点となり、自治体から提供される物資を組合員が被災地に運ぶ活動がはじまっています。このような現地での被災者支援活動(協同組合、労働団体、自治体等)、またこれまでの被災地支援同様に被災地での協同労働による仕事おこし等の支援に対し、募金の呼び掛けを開始しました(詳しくはワーカーズコープ連合会ホームページを参照ください)。

今回の地震が、東日本大震災に匹敵する揺れであるとの報道を考えると、長期的な被災者のくらしの再建、被災地の復旧復興、被災者の仕事おこし等が必要だと考えられます。現地の協同組合、労働団体、自治体等と連携し、支援活動に取り組みたいと思います。

さて、昨年12月のワーカーズコープ連合会の活動を2つ報告します。

ワーカーズコープ連合会では、地域での

協同労働を推進する緩やかなネットワークづくりに全国で取り組む方針を掲げており、現在までに18道府県3市で立ち上がり、さらに7地域で設立に向けた検討がはじまっています。各地のネットワークの取り組みを学び合う全国交流会議(12/8)を開催しましたので報告します。

北海道では毎月会議を開催し、協同労働に取り組む団体の紹介などを行い、またその様子をニュースにまとめ発信しています。石巻からは、ネットワークの支援を受けて立ち上がった労働者協同組合おたすけおんがく隊が参加し、ネットワークがなかったら立ち上がらなかったと報告。埼玉では、ネットワークが中心となり、県と連携して4圏域での学習会や視察などに取り組んでいます。新潟からは、映画上映会などに取り組んでいるが、まだまだセンター事業団、高齢協、JA、生協、労福協など団体としての参加が中心で、現場からの参加を増やしたいと。長野からは、労協うえだなど新たに立ち上がった労働者協同組合が参加し、現場の実践や課題や悩みも出されていると。愛知では、70ページの冊子が作成され、大学の先生も参加されるなか、若者をターゲットに協同労働を伝えている。阪神では、世界の労働者協同組合の学習や、現場視察を行っている。広島では、2011年に発足させ、くらしのセミナーを53回開催し、講師を会員が担うなど会員同士の交流を無理なく継続。

すべては伝えきれないが、それぞれの

ネットワークが集まっている人たちの特徴をいかして、多様な活動をおこなって、協同労働の推進を図っている。

もう一つの報告は、ワーカーズコープ連合会で毎年開催している協同労働リーダー基礎研修で、2回目の研修を長野県上田地域で開催し、労働者協同組合上田(労協うえだ)とワーカーズコープ・センター事業団上田地域福祉事業所の実践から学びました。

労協うえだは、シルバー人材センターで働いたり、社会福祉協議会でボランティア活動を行うも、自分らしく働く、やりがいをもって働くことを実現するために労働者協同組合を設立。一步を踏み出すことで、さまざまなつながりが生まれ、そこからソルガム栽培や竹炭づくりなどが広がっている報告がなされ、一人ひとりのシニア時代の暮らし方・働き方・あり方を考えさせられました。

上田地域福祉事業所は、現場数が30か所を超え、組合員数も200名を超えるなか、一人ひとりの意見や想いを実現する場として、各現場での話し合いによる運営に加えて、横断した各種プロジェクト活動と、社会連帯活動を行っている報告。その結果、ボードゲームカフェ、地域食堂、フリースクール、みんなのおうちなど多様な組合員がやりたい活動が生まれ、また離職率も大変低くなり、人が辞めない、人が育つ組織づくりが進んでいるとのこと。

参加者からは、大変勉強になり、それぞれの組織に持ち帰り、できることから取り組むといった感想が寄せられました。

年明けから年度末にかけて、協同労働・よい仕事研究交流全国集会(3/2-3)や、来年度に向けて連合会の役割や機能を改めて理事会で検討することを予定しており、引き続き加盟組織とともに進めていきたい。

「令和6年能登半島地震」被災者支援募金の呼び掛け

日本労働者協同組合連合会グループは、被災者のくらしの再建、被災地の復旧復興、被災者の仕事おこし等を支援するため、加盟組織や関連団体・個人に支援募金を呼びかけます。寄せられた募金は、被災者支援活動を行う団体(協同組合、労働団体、自治体等)へ送金させていただきます。

●募金名称：令和6年能登半島地震被災者支援募金

●期間：2024年1月11日(木)～

●口座：中央労働金庫 池袋支店 普通口座 3585032

一般社団法人日本社会連帯機構義援金 代表理事 永戸祐三

※寄付金控除の対象にはなりません。

【問い合わせ先】日本労働者協同組合連合会 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-44-3池袋ISP タマビル7階 TEL03-6907-8040 FAX03-6907-8041 Eメール rngukism@roukyou.gr.jp